



会津教育事務所社会教育だより

令和6年11月発行

【TEL 0242-29-5488 FAX 0242-29-5494】



今年度も継続して、会津教育事務所社会教育だよりを発行します。この「つなぐれ!ひろがれ!和・輪・話」というタイトルには、「人や地域のつながりを『和やか』に『輪』を『話』によって広げていきたい」という願いがあり、昨年より「話」を追加、「顔を合わせて話をする」ことを大切にし、社会教育情報や会津域内の公民館の特色ある取組、地域と学校との連携・協働の様子などについてお知らせします。

社会教育関係者や学校関係者の方々と情報共有しながら社会教育の推進に努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



令和6年度社会教育の重点～家庭の教育力・地域の教育力の向上を目指して～

☆ [社会教育課事業全体構想] 個人と社会の Well-being (一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ) の実現

☆ [会津教育事務所推進プラン] 人間力に満ちた人材の育成

会津域内の各市町村では、それぞれの地域の特色を生かしながら社会教育の充実が図られており、地域学校協働本部の設置率や学校運営協議会の導入率は全国に比べても高くなっています。一方で、少子・高齢化、また多様な要因から地域社会における支え合いやつながりの希薄化による地域の教育力が低下傾向にあり、地域ネットワークの拡大と強化を図る必要があります。

会津域内の現状を踏まえながら、社会教育では特に「家庭の教育力・地域の教育力の向上」を下記のとおり取り組みます。

- 家庭教育支援者を養成する研修会の実施と関係・支援団体の横のつながりづくり
- 教職員や社会教育関係者等を対象として研修会を行い関係者間の理解促進及び連携強化



域内公民館訪問より

～6市町村にて開催～

7月9日の金山町を皮切りに柳津町、磐梯町、西会津町、北塩原村、湯川村の6市町村にて開催しました。(10月末現在)

教育事務所による公民館訪問は13市町村全てにおいて実施させていただいております。共通してあげられる課題は、公民館事業運営の在り方や地域をどのように活性化させていくかという点です。

これからも公民館訪問を通して、直接対話することを大事にし、社会教育を推進していきたいと思っております。ご協力をお願いします。



研修会の参加のお礼

- 1 地域連携担当教職員等研修会**
 - ・期日 令和6年7月11日(木) (28名)
 - ・対象 会津域内の小・中・義務教育学校・県立学校教員等
- 2 読書活動支援者育成研修会**
 - ・期日 令和6年7月22日(月) (50名)
 - ・対象 会津域内の読書ボランティア、保育所・幼稚園・認定こども園関係者、学校司書、図書館司書等
- 3 家庭教育支援地区別研修会**
 - ・期日 令和6年7月31日(水) (32名)
 - ・対象 家庭教育支援者・保護者・SC・SSW・行政関係者・学校関係者等
- 4 地域学校協働研修会**
 - ・期日 令和6年8月5日(月) (34名)
 - ・対象 コーディネーター・ボランティア・地域住民・行政関係者・学校関係者等



会津教育事務所社会教育だより

令和6年11月発行

【TEL 0242-29-5488 FAX 0242-29-5494】



親子のコミュニケーションについて～家庭教育ブロック会議開催～

6月12日に道の駅あいづ 湯川・会津坂下 において、「第一回地域家庭教育推進会津ブロック会議」を開催しました。話われた内容は大きく二つ。

一つ目は、昨年度作成した「不登校支援」のリーフレットの有効的な活用について、二つ目は、新たなテーマ「親子のコミュニケーション」について協議を進めました。今後、さらに話し合いを深め、新たなリーフレットの作成を予定しております。

子育てに不安や悩みを抱える家庭に支援が届くよう、また「親の学び」を支援するために、地域の家庭教育を推進しています。これからも社会教育では「家庭の教育力・地域の教育力の向上」を目指し取り組みます。



【協議の様子】

地域連携担当教職員研修会 <地域学校協働本部事業 会津地区研修>

- 「学校・家庭・地域みんなのウェル・ビーイングを目指すコミュニティ・スクールと地域学校協働活動と一体的推進」についての講義を受け、熟議を体験！

7月11日に会津若松市北会津公民館にて、研修を行いました。会津教育事務所では、毎年1回地域連携担当教職員向けに研修会を開催しておりますが、地域連携担当教職員だけでなく、様々な人に理解を深めていただきたいと考えております。（教職員・行政関係者）

特に文科省CSマスターの安齋先生のお話はとても貴重なものでした。また、「熟議」は今後活用される話し合いの手法となります。

コミュニティ・スクールとは何か、地域学校協働活動とは何か、それらを一体的推進する必要性について等、今後も理解を深めていく研修を企画いたしますので、ぜひ参加をご検討ください。



【熟議の様子】

コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置した学校のことです。法律に基づき、教育委員会により任命された委員が、一定の権限と責任をもって、学校運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

地域学校協働活動とは

地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えると共に、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域がパートナーとして連携・協働を行う様々な活動です。

熟議とは

多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話

<ここでは>

熟議を生かした合意形成 ⇒ 『納得解』を生み出す

解決のための具体的な取組

地域学校協働活動へつなげる



会津教育事務所社会教育だより

令和6年11月発行

【TEL 0242-29-5488 FAX 0242-29-5494】



家庭教育支援者研修（会津地区） <地域でつながる家庭教育を目指して>

「よりよい人間関係を育むための保護者・先生向け SGE エクササイズ体験」と題し、7月31日に北会津公民館で、会津大学文化研究センターの小川千里様を講師に迎え、家庭教育支援者地区別研修（会津地区）を開催しました。SGE（構成的グループエンカウンター）とは、本音を表現し合い、それを互いに認め合う体験のことです。また、昨年に引き続き親業訓練シニアインストラクターの大屋弘子様にも、「聴く」「語る」、心を通わすコミュニケーションについて、御講演をいただきました。参加者からは、体験を通して、自己理解や他者理解について学ぶことができた。子どもの話を受けとめて、子どもの気持ちに寄り添うことが大切なことを知ることができた等、の感想をいただきました。



【研修会の様子】

地域学校協働活動研修会 ～地域みんなで、子どもたちの未来のために～

8月5日に福島県会津自然の家において、地域学校協働本部事業に関わる行政担当者や地域学校協働活動推進員等を対象として、地域学校協働研修会を開催しました。地域学校協働活動の「放課後子ども教室」における、子どもとの関わり方や学校と地域との連携・協働のために期待されていること等、講師の方々の豊富な経験に基づく内容で大変有意義な研修会となりました。

【演題並びに講師名】

- 「多様な地域学校協働活動のススメ（協働活動の What・Why・How の視点）」
檜葉町教育委員会 地域学校協働センター長 猿渡 智衛 氏
- 「信頼関係づくりのためのアイスブレイク」
福島県会津自然の家 指導員 土橋 雅子 氏



講師 猿渡様

【参加者の声】

- 講師の先生の熱い思いが伝わってきて、私も「何かやりたい、始めたい」という気持ちになりました。
- 学校支援という意識から、地域づくりという気持ちをもち、活動を再考します。
- 単純な動き、遊びを通して、相互の壁を越えて心を通わせていく活動が楽しく、多くの学びがありました。
- まわりの皆さんと楽しむことができました。自分の講座でもぜひ参考にしたいと思います。



講師 土橋様

☆第10回ビブリオバトル会津地区予選会（中・高校生の部）☆

ビブリオバトルが、8月31日に会津若松市文化センターにて行われました。

今年は、記念すべき第10回大会ということもあり新たな取組で行われました。出場者は各学校から代表者1名、中学生も予選会を行う、県内各地区（7会場）での予選会開催となりました。

（会津地区予選会には、中学生5名、高校生5名の計10名がエントリーしました。）

5分という時間の中で、「自分の選んだ本について魅力ある紹介」（知的書評合戦）をしました。観戦者も真剣に発表に聞き入っていました。読書・図書館ボランティア、教員、学生、司書など、読書活動に興味のある方には、ぜひこの熱い戦いを聴いていただきたいと思います。



会津教育事務所社会教育だより

令和6年11月発行

【TEL 0242-29-5488 FAX 0242-29-5494】



今回は、10月までに実施した**域内公民館訪問**をご紹介します。

金山町・柳津町・磐梯町・北塩原村・西会津町・湯川村の公民館訪問を行いました

令和6年度の公民館訪問（10月末現在）では、6つの公民館を訪問しました。公民館訪問は各市町村の担当のみならずと顔を合わせて直接話をさせていただく大切な機会と考えております。したがって、会津教育事務所では、毎年13市町村の全てをまわっています。

公民館訪問の目的としては、公民館等の管理運営、事業推進上の諸問題についての研究協議を行い、地域における特色ある公民館活動等の運営の充実に資するものであります。

今年は新たな試みとして、公民館内の案内をお願いし、雰囲気を感じ取る機会をつくっております。



光るポイント！金山町の公民館事業

- **生涯学習に関するアンケート調査を実施**
⇒ 町民の学習活動の実態や行政に対する学習活動支援への要望等を調査した。この結果も踏まえた上で、新たな『生涯学習振興計画』を作成している。
- **芸術・文化の振興**
⇒ 芸術鑑賞の機会を提供し、住民同士の交流の場をつくらせている。また、文化財の保護・管理と周知に力を入れており、町の文化の拠点となるよう活用に努めている。

光るポイント！柳津町の公民館事業

- **青少年の健全育成事業の推進（Y-Talk）の実施**
⇒ 町で活躍する先輩と交流し、多様な仕事や人生の選択肢を知る取組。郷土料理を含むランチビュッフェを食べながら、看護師さんや議員さんの話を中学生が聴き、今後の人生のヒントを得ている。
- **文化財の保存・活用と芸術文化の振興**
⇒ 地域の豊かな伝統文化の継承と町文化財の保存と活用に努め、美術館、アトリエ館の充実を図って芸術文化の振興に努めている。

光るポイント！磐梯町の公民館事業

- **学生ボランティアの育成**
⇒ 青少年事業として小学生を対象に行っている夏休みの企画に町内の中学生をボランティアとして募った。学校や家庭とは違う場において社会体験を行うことにより、自主性や視野の拡充、将来像の具現化につながっている。
- **チラシや講座内容の改善と工夫**
⇒ 広報研修を行い、募集チラシの改善を行っている。募集方法にQRコードを活用したため、参加者が増えた。また、館の入り口の掲示物にも工夫を凝らし、魅力ある講座の周知に努めている。

光るポイント！北塩原村の公民館事業

- **様々な視点から公民館事業の改善**
⇒ 以前からある事業を継続するのではなく、現在の社会情勢にあった事業の実施を検討している。公民館事業の見直しと精選も踏まえながら、新たな方法で行うことに対しても丁寧に理解を求めながら進めている。
- **文化財利活用事業の充実**
⇒ 公民館の2・3階では、企画展が行われている展示室があり、北塩原村の歴史や文化・生活に触れる展示がされている。地元の小学生が学習に訪れ、公民館を活用する機会を増やしている。

光るポイント！西会津町の公民館事業

- **西会津大人研幾塾（にしあいづ-Labo）**
⇒ 若者を対象に講義や現地学習を通し、楽しみながら町の現状や魅力・課題を把握し、地域課題解決意識等の醸成を図り、次代の町づくりを担う人材の育成を図っている。
- **令和7年度の実施を踏まえた事業の作成**
⇒ 大幅な職員の移動があり、公民館訪問時には、企画書の作成を職員全員で行った。事前に各自がワークシートにまとめたものを当日のグループワークで検討・協議し、企画書を作り上げた。また、それを全体で共有し、公民館事業に対する認識を深めることができた。

光るポイント！湯川村の公民館事業

- **「まなびの窓」（冊子）の作成**
⇒ 今年度開催の講座・教室、生涯学習行事、文化協会加盟団体、生涯学習スポーツの案内等をすべて一覧にして紹介した冊子を作成している。また、それを村内全戸に配布し周知に努めている。さらに、募集方法としてQRコードを活用している。
- **マイナビゆがわ（成人教室）**
⇒ 年齢制限をなくして、成人であれば誰でも参加が可能であるように変更した。社会教育委員が中心となり、企画内容について自ら計画している。多岐にわたる内容の講座であり、仲間づくりの大切な場となっている。